



大 東 市

市立生涯学習センター（アクロス）オープン！

はじめに

平成18年5月21日、市立生涯学習センター（愛称：アクロス）がオープンしました。

愛称の「アクロス」は、英語の「across＝行き交う」から、多くの市民がそれぞれの興味と目的をもって交流しあうという意味をもち、施設が市民から親しまれ、愛されるようにと、市民公募により決定されたものです。

アクロスでは、「自発的に、そして自由で多様な学習活動ができる場」となるよう、生涯学習ニーズに対応した学習機会や活動場所の提供、情報発信、団体活動支援のための機能の充実を図っていきます。



経過

本市では、平成9年に策定した「生涯学習プラン」において、市全域における生涯学習の拠点施設の必要性を位置づけ、学ぶことからまちづくりへの展開をめざすため、JR住道駅周辺に生涯学習センターの整備を検討していました。

そのような折り、大阪府において「(仮称) JR住道駅南共同住宅等開発事業」が進められ、駅前とい

う利便性に優れた立地条件であることから、市制施行50周年（本年4月）を迎える記念事業の一環として、高層住宅棟の1階及び3・4階の一部を生涯学習センターとして購入しました。

また、生涯学習センターが市全域の生涯学習の拠点施設としてどのようにあるべきかなど、市民の多様な意見を反映させるため、公募による市民協働型テーブル「MORE」を設置し、施設に求められる機能や、地域の団体、教育機関との連携、情報発信拠点の整備、利用上の工夫などについて協働して検討を進め、報告書を取りまとめました。

同時に、オープンに向け、オープニング関連イベントの企画・実施を行う市民協力員を公募し、映画上映、歌やダンスなど市民によるステージ発表など、市民が中心となった運営手法により、大きな賑わいに包まれたイベントを開催することができました。

主な機能

【学習機会の提供と情報発信拠点】

学習へのきっかけづくりとなるよう、クラフト講座や口笛講座など多様なセンター主催事業の実施と、市内外の学習情報の収集と提供、学習を始める手助けとなる学習相談を行います。

【市民活動支援】

市民活動団体が事務所スペースとして利用できる共有デスクをはじめ、貸出用パソコン、小規模の会議スペース（ラボ＝6人用部屋）、メールボックスとしても活用できるロッカーを備え、団体の活動支援を行います。

【人的ネットワーク支援】

個人・サークル・団体の活動を活性化させ、成熟した社会を生涯学習と市民協働を通じて実現するた



め、市民が相互に交流・連携できる機会の創出を図ることを通じて、人的ネットワークの構築を図ります。

【市民サービスコーナー、男女共同参画、青少年育成】

市のインフォメーションセンターとして駅前サービスコーナーを開設し、各種情報提供、証明書の発行を行うとともに、男女共同参画社会づくりに向けた交流拠点や女性相談機能を備えた男女共同参画ルーム、青少年健全育成のための活動相談に対応した青少年ルームを併設し、幅広い住民サービスへの対応をめざしています。

【公共施設予約システム】

利用者の利便性の向上を図るため、生涯学習センターのオープンに合わせ、Web上で市内公共施設の空き状況の確認・予約の申込みを行えるようにしました。



施設の運営

施設の運営については、地方自治法の改正に伴い指定管理者制度を導入し、民間事業者により、市民

ニーズに合致した多様な事業展開と民間の経営感覚を生かした施設運営を目指します。

また、生涯学習センターでは、センター主催事業の他に、市において次の業務の一体的管理を行っています。

- ①市制50周年事業として市民協働で本市の歴史や文化を分かりやすく編纂した「だいとう学」テキスト4巻をもとに、18年度から3年間、「だいとう学」と題した市民講座の開催
- ②在日外国人の学習支援のための日本語読み書き講座の運営
- ③男女共同参画に関する定例相談、電話相談の実施
- ④公共施設予約システムの管理

施設概要

所在地 大東市末広町1-301

専有面積 約1,834㎡

施設内容

- 1F 市民ギャラリーB、青少年ルーム、男女共同参画ルーム
- 3F 市民ギャラリーA、情報ロビー、市民ネットワークコーナー、ネットワーク・ラボ、ワークステーション、市民サービスコーナー
- 4F ルームA、ルームB、多目的室、キッズルーム、メディア研修室、特別会議室

開館時間 午前9時から午後10時

休館日 第2木曜日と年末年始

おわりに

「学ぶこと」から「まちづくり」へと生涯学習を推進していくためには、市民の自主的な学習活動を支援するとともに、学習活動の場である本センターが気軽に訪れたいくなる施設であることが大切です。指定管理者の下、利用者の満足度向上のため、日頃から利用者の声を聴き、その意見が反映される仕組みづくりと市民との協働による施設運営を目指していきます。